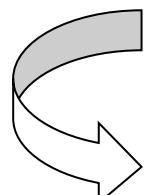


[記入例]

の中はすべて記入してください。



裏面へ続きます

申請期限 令和8年2月26日

被害にあわれた状況		別紙のとおり		
支給を受けるとする金額	犯罪行為により失われた財産の価額	<input type="text"/> 円 <small>(価額算定の根拠) 別紙のとおり</small>		
	控除対象合計額	<input type="text" value="150,000"/> 円		
	(内訳)			
	てん補又は賠償を受けた年月日	てん補又は賠償をした者の氏名又は名称(犯人との関係)	てん補又は賠償を受けた者の氏名又は名称(被害者等との関係)	てん補又は賠償額
	平成〇〇年〇〇月〇〇日	○○○○ (本人)	札幌一郎 (本人)	100,000 円
	平成〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇銀行 (犯罪利用口座の銀行)	札幌一郎 (本人)	50,000 円
	支給を受けるべき被害回復給付金の額の割合についての合意の有無及びその内容	<input checked="" type="checkbox"/> 合意はない	<input type="checkbox"/> 以下の合意がある	
		施行規則第8条 第1項第8号に定める他の申請人等の氏名又は名称及び住所等	フリガナ <input type="text" value="サツホ・ロ・タロウ"/> 氏名 <input type="text" value="札幌太郎"/> (法人の名称)	
合意の内容				
払渡しを受ける機関その他のその払渡しを受けるため必要な事項	預貯金口座義人	フリガナ <input type="text" value="サツホ・ロ・タロウ"/> 氏名 <input type="text" value="札幌太郎"/> (法人の名称)		
	預貯金口座	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県 〇〇市 〇〇町 〇〇〇丁目 〇番 〇号 〇〇マンション 〇〇号室		
	金融機関	○〇信用 <small>銀行 金庫 信用組合 協同組合</small>		
	郵便局	通帳記号 <input type="text"/> 預金種別 <input checked="" type="radio"/> 1. 普通預金 <input type="radio"/> 2. 当座預金		
その他の必要な事項				

○犯罪行為により失われた財産の価額記入欄

「被害状況別紙」で算出した「支払金額」の合計額を記入してください。

★添付書類必要

「添付書類確認シート」③を確認してください。

○てん補又は賠償関係記入欄

犯人又はその弁護人などから、被害額のてん補又は賠償を受けていない場合は「控除対象合計額」欄に「0」と記入してください。

被害額のてん補又は賠償がされた場合は内訳を記入し「控除対象合計額」欄にその合計額を記入してください。

★添付書類必要

「添付書類確認シート」④を確認してください。

※「てん補又は賠償額」とは、犯人側や金融機関から被害者に対し、損害補填・示談・賠償金・組戻・分配金等の名目で支払われた金額のことです。

○給付金額の割合に関する合意の有無

ほかの被害者(申請人)との間で、給付金の支給を受けることとなつた場合の支給割合について、何も合意をしていない場合は「合意はない」に✓してください。その場合、次欄は記入不要です。

何らかの合意がある場合のみ「以下の合意がある」に✓し、その内容を次欄に記入してください。

★添付書類必要

「添付書類確認シート」⑤を確認してください。

○被害回復給付金の振込先口座記入欄

この口座は、申請人本人名義のものに限ります。記入した口座の通帳又はキャッシュカードの写しが必要です。

★添付書類必要

「添付書類確認シート」⑥を確認してください。

口座が開設できないなど、やむを得ない事情がある場合に記入する欄です。

申請書は、記入例をよくお読みの上ご記入し、必要な書類を添付して申請してください。
添付書類については、同封の「添付書類確認シート」で必ずご確認願います。

注意

申請書又は添付書類に虚偽の記載をして提出した者は、50万円以下の罰金に処することとされています。